



▲山道での練習に熱が入ります

スペインのピレネー山脈で7月23日に開催されるスカイランニング世界選手権に、大和町の東徹さんが日本代表選手として出場します。

スカイランニングは標高2千m以上の山岳で行なわれる競走競技。出場するウルトラ部門は全長105km、高低差8kmのコースを、上位の選手は14〜15時間のタイムで走る過酷なレースです。

中学時代に陸上を始め、マラソンを中心に競技を続けてきました。日本選手権6位、自己最高タイム2時間19分12秒の記録は実業団選手に匹敵します。山岳レースにも意欲的に取り組み、平成25年に国内最高峰の日本山岳耐久レース

若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 05

大和町から

ピレネー山脈の空を駆ける

市民ランナー 東徹さん

に初出場し、大会新記録で優勝。一躍その分野でも注目される選手になりました。

実は妻の奈々さんも国内有数の市民ランナーです。同じくマラソンと山岳レースに出場し、マラソンでは2時間50分台の記録を持っています。



▲東徹さん、奈々さん、朝日くんご家族

夫婦とも第一線で活躍するランナーですが、家庭で競技の話はほとんどしないそうです。「競技への考えが違いますし、お互いに干渉しません」と徹さん。それでも「徹さんは常に目標とするペースで攻めていく」「奈々さんは小さな事にこだわらず、自分のレースに徹する」と互いを認め、切磋琢磨してきました。庄原市で開催される山岳レースには揃って出場し、ここ数年はアベック優勝を続けています。

活躍の舞台は広がっていますが、「大和はたくさん走る仲間がいる大切な場所」と口を揃える2人。白竜湖トレイルランの開催にも携わる徹さんは「県外のランナーにも三原をPRしていきたい」と話します。

世界大会が目前に迫り、「日本代表として出場できるのが、『結果が全て』の気持ちで挑戦する」と意気込む徹さん。家族と地元応援を力に変え、ピレネーの頂へと駆け上がります。

(取材は大会前の7月中旬に行ないました)

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

安らぎの棲真寺



写真・絵を募集しています

テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

応募資格 市内在住・在勤・在学の人
選考 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

申し込み 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ

作品エピソード 撮影者 船本雄三さん

小早川隆景が父 毛利元就を招いて宴を催したという棲真寺。花の寺としても有名で初夏にはハスの花が咲きます。寺とハスの風景は古代がしのばれ、心が安らかになります。



●撮影年月 平成28年7月
●撮影場所 棲真寺(大和町平坂)